

ハーブだより

2022 第216号



コロナ患者さんの数が減らない。

発熱外来でひどくつらそうな若者の多くが、ワクチン未接種か、その回数が少ないか。どうか出来る限りの接種をお勧めします。

以前も書いたが、人間がインフルエンザを何とか克服できたのは、多くの犠牲者を出しつつも、くり返し感染し、予防接種をしたからだ。筋トレしてボディーブローをくり返し浴びたボクサーだからこそ、多少のパンチにも耐えられる。インフルエンザに比して、人はコロナに対して歴史上付き合いが短い。だから少なくともワクチンで耐性(免疫)を得ておかなければ感染時に結構ひどい目に合う。若い人ほど年をとるまでに、コロナに感染する頻度が高い以上、可能な限りワクチン接種をした方がよい。一時的な短期間の副作用と、これからの数十年を天秤にかければ、それが結論だと思う。

さて、発熱や咳、頭痛、咽頭痛の鑑別診断のやり方がこの三年間は以前と全く異なり、まず、コロナか否かをPCRか抗原でチェック。そこからスタート。問題はコロナでない場合「よかった、よかった」で、症状が消えなくても安心してしまうこと。その後なかなか治らず、結局別の肺炎や、細菌感染症であったり重篤な疾患が隠れていたりする。外来も忙しく、じっくり患者さんと話す余裕も無く発見が遅れてしまう。感染力が増したため、コロナが完全否定できるまで、院内での検査ができない。見落としがないよう注意を払わなければならぬ。

自然感染と予防接種によって日本人の集団免疫率が増し、8月終わりをピークに、第7波は収束する予測だ。比較的低い死亡率で集団免疫を獲得しつつ、社会生活の制限を解除している日本は、政策的には他国に比して健闘しているようだが。第7波が収まっても間違いなく第8波が来襲する。残暑は酷暑より涼しい。控えてきた運動をそろそろ始めて、体力維持に努めて頂きたいと思います。



ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内秀俊



ハーブ内科 検索
スタッフブログを毎週更新中!

発行元：医療法人ハーブ内科皮フ科 所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
株式会社ハーブライフケア TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753

【くもん学習療法】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。



頭の体操は読み書き計算だけでなくスタッフと1対2のコミュニケーションの時間があり大人気です。今日は男性3人で何の話をしているのでしょうか？とても楽しそうですね。みなさんが若い頃に流行したボーリングの話だったとか。さぞかっよく投げていたのでしょうか。

さて、スコアはどうだったのでしょうか？

【回想法デイサービス】

レクリエーションでこっち来いお手玉集めゲームをしました。チーム戦で、遠い方の籠に手持ちのお手玉三個をスタートの合図でゴールに行くまでの間に投げ入れるゲームです。籠に入ったお手玉の数とゴールに先に着いた方にプラスの得点で勝敗を決める。遠い方の籠に入れるのが難しく、手前の籠に入れたり、外れたり「早く入れて、遠くの籠だよ」と職員の声も飛び交う、何度も繰り返すので、上手になり籠のお手玉の数も増えます。頭も使い、腕の筋力も使う全身運動でチーム一丸となって楽しまれていました。



【介護事務】

連日の厳しい暑さも少し和らいできました。暑くてなかなか行けていなかったウォーキングをそろそろ再開したいです

気づけば、入職して2年近く経ちました。介護事務の仕事は幅広く、初めはブランクのある私がお皆さんのご迷惑になることなく働けるだろうか、という不安の中のスタートでした。ですが、介護事務の上司、先輩、他の部署の方々に優しくご指導していただき、今では色々な業務に携われるようになりました。

他部署、他事業所との連携が必要な業務も多いので、円滑に進むよう、スキルアップを目指しこれからも頑張っていきたいです。